

学年	5年	教科	総合	単元名	自分達の成長を伝えよう レインボー放送局①
学校名	村山市立楯岡小学校			実践者	齋藤 友貴
本時の学習活動	1年間の思い出をニュース番組にして発表する				
ICT活用のねらい	【1 教員による活用】		【2 児童生徒による活用】		
1-1 2-3	1-1 興味関心を高める 1-2 課題を明確につかませる 1-3 思考や理解を深める 1-4 知識の定着を図る	2-1 情報を収集・選択する 2-2 文や図表にまとめる 2-3 発表したり表現したりする 2-4 知識や技能の習熟を図る			
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	タブレット端末 (iPad), PC, アプリ(カメラ), PCソフト(ムービーメーカー)				
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習	<input checked="" type="checkbox"/> グループ学習	<input type="checkbox"/> 個別学習		
活用の場面・方法	<input type="checkbox"/> 導入の場面	<input checked="" type="checkbox"/> 展開の場面	<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面		
	① 1年間の思い出をニュース原稿にまとめる。 ② タブレット端末で動画を撮影する。(試し撮り) ③ 他のグループと発表を見合っ、改善点を見つけ、本番の番組を撮影する。 ④ PCのムービーメーカーでテロップや場面の切り替えなどの編集を行う。 (教師が実施)				
活用のポイント	・場の設定(スタジオ作り・役割分担・マイク)を児童に考えさせ臨場感を持たせる。 ・番組構成を考えさせたうえで、撮影の仕方に工夫を持たせる。				
児童生徒の学びの様子	・カメラマン・キャスター・ディレクターというように役割分担を明確にして話し合いをさせることで、それぞれの立場からよりよい番組を作ろうとする様子が見られた。 ・「スタジオから現場へというように画面を切り替えたい」という申し出があり、PCソフトのムービーメーカーで動画をつなぎ合わせて編集することで、満足感のある作品ができたという感想が得られた。				
活用の様子(写真)					
実践を通して感じたこと	・動画の撮影が容易で簡単な編集(動画を選択・再生・削除など)が可能なタブレット端末は非常に利便性のあるものであった。また、特別な指導が無くとも児童が操作できるという点でも、タブレット端末の活用は有効だと感じた。 ・児童でも操作が容易な無料アプリを見つければ、PCソフトのムービーメーカーでの作業も児童自らが行うことができる可能性がある。				